



# 営農NEWS



## ナシのハダニ類の防除を徹底しましょう 「病害虫発生予察注意報」が発表されました

県病害虫防除所の調査によりますと、7月下旬現在、県内 20 地点のナシ調査圃場におけるハダニ類の寄生葉率（本年 3.7%、平年 0.3%）および発生地点率（本年 40%、平年 13%）は、いずれも平年より高く、また、例年、7月から8月にかけて寄生が多くなる傾向なのに、本年は7月から多い状況で、今後とも上昇することが考えられ、さらに、気象予報の向こう1カ月の気温が平年より高いと予想され、ハダニ類の発生を助長する条件であることから、

### 平成 30 年 7 月 31 日付で「病害虫発生予察注意報 第 3 号」 ナシ園でハダニ類の発生が多くみられます！ ～早期の落葉を防ぐため、防除を徹底しましょう～ を発表しました

#### <防除のポイント>

1. ハダニ類は発生が多くなると防除が困難となるので、早期発見と発生初期のうちに防除を行います。
2. 7～8月の乾燥期にハダニが多発生すると、早生種では葉焼けが助長され早期の落葉を招くので、防除を徹底します。
3. 薬剤抵抗性の発達を抑制するため、分類コードの異なる薬剤でローテーション防除します。
4. 他の害虫を対象に分類コード：3A（ピレスロイド系）の薬剤を散布すると、ハダニ類やカイガラムシ類が増加する場合がありますので、散布回数を最小限に抑えてください。
5. 薬剤防除を行う際には、収穫前日数などの農薬使用基準に十分に注意して、かけむらのよう丁寧に散布します。

表 1 ナシ ハダニ類の主な防除薬剤（平成 30 年 8 月 1 日現在）

薬剤名	希釈倍数	使用時期 / 使用回数	分類
カネマイトフロアブル	1,000～1,500倍	収穫前日まで / 1回	20B
コテツフロアブル ※	2,000～3,000倍	収穫前日まで / 3回以内	13
コロマイト水和剤	2,000倍	収穫前日まで / 1回	6
スターマイトフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 1回	25A
ダニゲッターフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 1回	23
ダニコングフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 1回	25B
マイトコーネフロアブル	1,000～1,500倍	収穫前日まで / 1回	20D

注) 1. ※印薬剤の対象害虫は、カンザワハダニ、ナミハダニなどです。

2. 分類欄には、IRAC コードを記載しました。同一分類（コード）は作用点が同じなので、連用は避けてください。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040